

地区協会コーナー

～ 「内灘海岸(砂丘)の魅力」 ～

河北郡内灘町～かほく市

河北都市土建協同組合

内灘海岸は、石川県のほぼ中央に位置する日本海に沿った海岸で、手取川から運ばれた土砂が日本海の流れによって流され、堆積した「内灘砂丘」を擁しています。

この内灘砂丘は、金沢市粟ヶ崎～内灘町～かほく市まで延び、日本海と河北潟を隔て、その延長は約10km、幅は約1kmで、途中河北潟放水路で分断されているその部分を除けば、青森県「猿ヶ森砂丘」鳥取県の「鳥取砂丘」に次いで日本で三番目に大きな砂丘です。

新旧2層の砂丘構造から成り、その境界からは、縄文時代中期～弥生末期の石器、土器類が数多く出土されています。

内灘海岸には多くの「動植物」も生息しています。特に海岸北部にある「権現森」や「西荒屋周辺」には「ハマヒルガオ」「ハマナス」「ハマボウフウ」「ハマノベギク」などの海浜植物が群生しており、浜風、直射日光、砂粒等の厳しい生育環境と闘いながらも健気に懸命に可憐な花を咲かせています。また内灘町の天然記念物である「シロチドリ」も生息しています。「シロチドリ」はチドリ的一种で体の上半分は薄い褐色、下半分は白色をした体長が約17cm程度の上品で愛らしい海辺の留鳥ですが、近年では「海岸の浸食」が進むとともに、「宅地開発」「護岸工事」などの影響から、これらの希少な動植物に適した「広い砂丘が減少」する一方の危機事態に瀕しています。

よって、地元の内灘町では、以前と比べてわずかとなってしまった「海浜植物」を守り、「シロチドリ」の繁殖が脅かされないための対策について、石川県及びかほく市と一体となって「保護活動」を推進されています。

平成17年、環境省の「快水浴場百選」に選定された内灘海岸の中で最も大きな「内灘海水浴場」では、毎年7月上旬に、「ピ・チベ・スポ・ル大会」のイベントが開催されているほか、平成21年、内灘海岸は、

「love&BEACH サンセットブリッジ内灘」として「恋人の聖地」に認定されていますので、これからの季節、真夏の「夕日が沈む内灘海岸」にロマンティックムードを満喫されに、是非、訪れてみてはいかがでしょうか。

